



災害に強いまちを目指して 防災リーダー養成講座



市民が日頃から防災意識をもち、防災力の向上と自主防災組織の活性化を図りながら災害に強いまちにしていくため、市は地域防災リーダーの養成を進めています。防災リーダー養成講座は、その一環として昨年度から開催しています。

今年度は、市内の中学生6人を含む49人が受講しました。受講者のうち、12人が22歳以下と若い防災リーダーが誕生しました。座学のほか、ワークショップ、救命講習などの実技を学んだり、非常食を調理、実食したりして、防災、減災についての知識を得ました。

日、28日、2月4日の3日間実施しました。

この料理教室は、山県市食生活改善連絡協議会が県から委託を受けて実施した事業で、普段の食事に牛乳などの乳製品をより多く取り入れてもらうことを目的に行われ、市民約30人が参加しました。

教室の参加者は、楽しく調理しながら骨や筋肉を維持するのに役立つ乳製品をふんだんに使った料理を学びました。



丈夫な骨で元気に過ごそう! 生涯骨太クッキング

山県の魅力を発信 marugotoやまがた観光物産フェア



2月10日と11日、岐阜駅西の商業施設「アクティイブG」で「marugotoやまがた観光物産フェア」を行いました。

このイベントは、市の旬の果物や野菜、特産品、加工品などの物産販売のほか、季節に応じた見所を紹介することで市の魅力を発信し、山県市の来訪者の増加を目的として山県市観光協会が主催したものです。会場には2日間で約2,000人がブースへ立ち寄って買い物を楽しみ、多くの人に山県市の魅力に触れていただきました。

学校コラボレーター事業 たぬきの糸車



この事業は、国語で「たぬきの糸車」を学ぶ1年生が対象で、体験をおして物語をより詳しく理解してもらうことを目的に実施され、今年で6年目になります。

児童は、紙芝居の後、綿花から種を取り、綿打ちをしてほぐした綿から糸を紡ぐまでを体験しました。体験した児童は、「昔の道具に触れてよかったです」「思ったより難しかった」と話しました。

1月31日から2月15日の間に市内8小学校で学校コラボレーターによる紙芝居と糸車の体験が行われました。

市重要無形民俗文化財記録映像上映・民俗芸能公演会を開催



2月18日、花咲きホールで市重要無形民俗文化財記録映像上映・民俗芸能公演会が行われました。参加者約230人は、市重要無形民俗文化財を中心とした記録映像の上映や、同文化財の保存会による舞台公演、地域の祭りや民俗行事の様子を紹介した写真パネルの展示などを楽しみました。

参加者は、先人が築き、現在まで継承されてきた民俗文化財の意義や魅力を再認識するとともに、こうした民俗文化財を次世代へ継承するとの大切さについて、理解を深めました。

子どもたちの成長を祝い 大桜保育園でひな祭り会

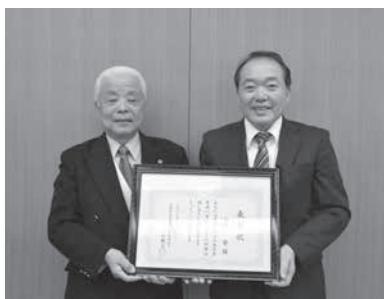
3月2日、大桜保育園で「ひな祭り会」が行われました。

ひな祭りは、女の子のお祝いの日ですが、子どもたちが病気やけがをしないで元気に育ちますようにと願いを込めて、子どもの日のお祝いのときのように、保育園では女の子も男の子もみんなで大きくなつたことを喜びながら、一緒に祝いをしています。

この日は、4月から新しく入園する子どもたちも招待されており、園児たち全員の合唱や、年少児、未満児のお遊戯で、ひな祭りを祝いました。



小谷登さんが全国青少年育成県民会議連合会長表彰を報告



小谷登さんが全国青少年育成県民会議連合会長表彰（青少年指導者等顕彰）の受賞報告のため、2月22日に市長を表敬訪問しました。

小谷さんは、長年にわたり市社会教育委員や保護司を務めているほか、県青少年育成推進指導員や同指導員連絡協議会理事としてリーダーシップを發揮し、これらの多大な功績が認められて今回の表彰となりました。

平成29年度市功労表彰 市重要無形民俗文化財



柿野獅子神楽保存会、伊自良立華保存会、伊自良十六拍子保存会、北山雨乞い太鼓・雨乞い踊り保存会、葛原太鼓踊り保存会、乾音頭保存会（敬称略）

2月18日、花咲きホールで行われた市重要無形民俗文化財記録映像上映・民俗芸能公演会で市功労表彰の表彰式があり、文化財の保護に貢献した6団体が表彰されました。表彰を受けたのは、次の皆さんです。（敬称略）

故佐村勇さんに叙勲 「旭日単光章」を伝達



3月6日、市役所公室で「旭日単光章」を受章された、故佐村勇さんの遺族に受章伝達を行いました。

佐村さんは、昭和58年5月に伊自良村議員に当選、平成11年5月までの間に通算3期12年間にわたり村議会議員として議会の円滑な運営に尽力され、長きにわたり地方自治の発展に多大な貢献をされました。